

## 令和7年度藤井寺市地域部活動あり方検討委員会 会議録

会議の名称	令和7年度 第2回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会
開催日時	令和7年11月12日(水) 午後5時30分から
開催場所	藤井寺市市民総合会館 中会議室 A
出席者	<p>委員： 藤井寺市スポーツ推進委員：山根 義文  藤井寺市体育協会加盟員：瀧ヶ平 明弘  保護者代表：森川 奈津子  藤井寺市校長会：北村 敦士  藤井寺市教頭会：吉田 真一  中学校教員代表：大鳥 亮太  中学校教員代表：小川 えりか  市民生活部協働人権課：龍見 美行  教育部教育総務課：中村 真也  教育部学校教育課：田中 守  教育部生涯学習課：辻野 智一</p> <p style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</p> <p>事務局： 教育部長：大山 哲也、教育部教育監：寺田 剛、  学校教育課 主幹：富田 智子</p>
欠席者	教育部スポーツ振興課：八木 淳一
会議の議題	地域移行に向けて
会議の成立	委員12名中、過半数(11名)の出席があり、藤井寺市地域部活動あり方検討委員会規則の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成方法	要点記録
記録内容の確認方法	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開の別	公開

○事務局

皆さん こんにちは。

只今より、令和7年度第2回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、委員の皆様方には、次の点についてご了解いただきますようお願いいたします。

本委員会について、原則公開となっており、本日の傍聴者は 0 人です。

次に本日の内容につきましては、議事録を作成いたしますため、録音させていただきますので、ご了承願います。

最後に、本日の委員会の内容の中で個人のプライバシーに関する内容が含まれた場合は、守秘義務も含め、適切に対応していただきますようお願いいたします。

また、前回の会議録についてです。【資料1】について、委員の皆さまにはすでに送付させていただき、ご意見いただいた点については一部修正しております。お示ししている内容で決定してよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

議事録につきましては、当日提示した資料とともに後日ホームページにアップする予定となっておりますのでご了承ください。

さて、委員の任期が令和7年7月31日まででしたので、8月1日から委員の交代がありました。保護者の代表として、元藤井寺中学校PTAの堂脇委員から現藤井寺中学校PTAの森川奈津子さまを委員として委嘱、中学校教員代表として、藤井寺中学校教諭の中村先生から道明寺中学校首席の大鳥先生、第三中学校教諭の小川先生を委員として任命させていただきます。森川委員、大鳥委員、小川委員、自己紹介をお願いします。

○森川委員

藤井寺中学校PTAの森川です。よろしくお願いします。

○大鳥委員

道明寺中学校の大鳥です。よろしくお願いします。

○小川委員

第三中学校の小川です。よろしくお願いします。

○事務局

それでは、これより、委員長と副委員長に司会進行していただきます。

山根委員長、北村副委員長よろしくお願いします。

○山根委員長

それでは、次第2「地域移行・展開に向けて」です。

「取組みの進捗状況について」、事務局お願いいたします。

#### ○事務局

はじめに、本市では子どもの指導を引き受けてくださる地域の企業チームやスポーツ団体等が少なく、部活動の地域移行・展開は難しい状況で、現状、学校が主体となって部活動をすすめていきますが、可能な範囲で外部指導部活動や合同部活動、拠点校部活動に移行していくという方針を本委員会で確認したところ。委員の交代もありましたので、ご報告させていただきます。

【資料2】をご覧ください。【資料2】は前回、どんな方が部活動指導員をしているのか、どの程度勤務しているのか等のご質問がありましたので、7月末までの委員の皆さまには後日送付させていただきましたが、本日は9月末現在のものをお示ししております。一つ訂正があります。第三中学校の大学生バレーボールと書いているのは大学生でサッカーです。訂正をお願いいたします。部活動指導員は国や府の補助を受けて配置している事業となるため、予算も限られていますが、部活動指導員の活動に関して「満足している」と肯定的に答えていただいている先生が90%を超えていることから、今後も部活動指導員の配置を拡充できるよう努めてまいります。

続きまして、②の道明寺中学校と第三中学校の剣道部合同練習についてです。道明寺中学校の剣道部顧問である大鳥先生に委員に就任いただきましたので、剣道部の進捗を説明させていただきます。大鳥先生、よろしくお願いいたします。

#### ○大鳥委員

合同の剣道部の活動頻度が今現在減っておりまして、2ヶ月に1回、3ヶ月に1回程度の練習です。ただ顧問同士のつながりはありますので、アドバイス等は行っている状況です。

実際合同練習をする回数は減っていますが、実施した時は本当に中身の濃い練習になっておりまして、顧問合計で5人いるので、それぞれの技量に合わせて初心者組と経験者組等に分けて、いろんな指導ができていて、すごくメリットはあるかなと思っております。

練習回数が少ないのは、たまたま予定が合わなかったというだけのことで、今後も継続してできたらなと思っております。

もう一つ、地域移行団体として立ち上げたいと言っていた「結会」ですが、現在練習を週2回行っております。いずれも勤務が終わった後に、市内の小学校の教員と私の2人で練習を見ております。進捗状況としては、部員が6人に増えました。

大阪府剣道連盟登録できる見込みということで、前回お伝えしていましたが、登録できましたので、あとは中体連に登録するのみとなっております。

もう一つが会費ですけども、悩ましいところで、今現在はとっておりません。中体連にもまだ加盟しておりませんし、試合もお金がかからない練習試合や、周囲の道場の大会に出ていますが、今後どうするか、検討していく予定です。具体的には中体連登録費は必要になります。これを、会費を取るのか、それとも何らかの補助があるのかどうか含めて、検討していきたいと考えております。

保険につきましては、公益財団法人スポーツ安全協会という保険に入っております。この保険は大阪府剣道連盟も推奨している保険になっております。剣道だけでなく、いろんな競技に使えると思っております。現状

は以上です。

課題としましては、場所の確保が必要で、これもお金がかかるのであれば、さらに会費が必要になるかもしれません。

そして現在、小学校教員と僕の方でやっておりますので、今は勤務時間外にやっていますが、働き方というところも含めて、検討が必要なのかなと思っております。以上です。

○山根委員長

ただ今の説明について、ご質問はありませんか。

○北村副委員長

今後、福島先生、大鳥先生が転勤したときに、どういう形にしたらいいのかという問題も検討が必要です。

今小学生も10名ほどいますね。その辺りも地域クラブという形には発展していく可能性は十分あると見させてもらっています。

○山根委員長

万が一の場合は対応する保険にも加入されるとのことで、一定安心しました。

以前、生徒・保護者アンケートをしたときに出てきた不安面として「指導者の選定基準等、指導者に対する不安、金銭面の負担に対する不安、活動場所が在籍校と異なることへの不安、活動時間として、学校での部活動と異なることへの不安」がありましたが、その視点から皆さまから意見をお聞きしたいと思います。

○山根委員長

【資料2】で活動時間が月に21時間とか14時間と書いていますが、1日の活動は何時間ぐらいの目安ですか。

○事務局

平日は基本2時間です。土日は4時間、試合の場合は1日もあります。

○山根委員長

これに対して、報酬が発生しているということですね。

○事務局

はい、その通りです。

○山根委員長

はい。ありがとうございます。何かご質問ありますか。

今あった課題点がクリアできれば、理解が得られるかと思えます。今後、そのあたりの検討について、よろしく願いいたします。

## ○事務局

最後に③アルティメット教室の実施について、八木委員が欠席のため、山根委員長より報告いただきます。

## ○山根委員長

【資料3】をご覧ください。今ちょうど2週に1度ぐらいのペースで全6回のアルティメット教室を開催しております。小学校5、6年生対象です。主に昨年度参加してくれていた5年生が、同じようなグループで参加してくれております。参加人数は、少ない時は1人っていう時もありましたが、まあ、大体8人から10人ぐらいの参加です。指導者は、四天王寺大学のアルティメット部の学生で、現在、藤井寺市のスポーツ推進委員に所属している者が指導しております。ディスクを投げる練習を行って、それからミニゲームも行っていく、というような形で、かなり楽しく、また形になってきたかなというふうに思っています。女性も過去に何度か参加してくれています。生徒たちが中学校に行った折には、他のクラブを選択する場合もあるでしょうが、この活動がうまく部活動の地域移行という形でうまく部活動化できればいいなと思っています。以上です。

## ○山根委員長

何か質問・ご意見等がありますか。

前回、瀧ヶ平委員から、「地域クラブ活動をやってみたいという団体もありそうです」というお話をされていたと思います。具体的にそういう団体があったでしょうか。その団体がどのようなことを考えているのでしょうか。各委員からご報告いただけますでしょうか。また、委員のみなさまがそれぞれの立場でできることや考え等についてもご報告いただけますでしょうか。

## ○瀧ヶ平委員

やってみたいというか、声をかければ指導者の方を派遣する、検討をしてくれるかもしれません。体育協会に加盟されている団体で、中学校の部活動に興味があるという団体は、野球、サッカー、卓球、ソフトボール、ソフトテニス、剣道、バドミントンですが、そのうち一番可能性のある団体は卓球です。それ以外の団体も、検討はしていただけるところはあると思いますが、どうしても指導者を出すということになると、高齢者が結構多いので、どの団体も、なかなか難しいのが現状です。卓球に関しては、興味のある方もいらっしゃるので、具体的に平日何曜日の何時から来てもらえませんか、ということ、学校から提示があれば、検討していただける方はいらっしゃるというふうに、聞いています。ソフトテニスも検討する余地はあるという話はしてもらっています。それ以外の団体はなかなか難しいのが正直なところです。

## ○山根委員長

何か質問・ご意見等がありますか。

保護者の立場から森川さん、ご意見ご要望はありますか。

## ○森川委員

部活動全てを外部委託のような方向で進めていくということがゴールということでしょうか。

○事務局

基本的には、全ての部活動を地域移行、地域展開にすることがゴールですが、そもそも、藤井寺市に子どもの指導を引き受けてくださる地域の企業チームやスポーツ団体等が少なく、部活動の地域移行・展開は難しい状況です。現状は学校が主体となって部活動をすすめていきますが、先ほど話に出ていた外部の指導者の方を学校に派遣したり、可能な範囲で合同部活動、拠点校部活動に移行していきたいと考えております。

また剣道で「結会」という団体を立ち上げていただいていますので、他の競技でそういった団体を立ち上げてくれるような方がいらっしゃれば、活用できればと考えています。

○森川委員

私も高校生と中学生の3人子どもがいます。3人ともバレー部に所属していて、先生方にすごく熱心に指導をいただいている、ありがたいと思っています。ただ放課後や休みの日も指導していただいて先生たちの負担もすごくあるというのは、いつも思います。

外部のコーチが来られている部活動の話を外試合とかで聞くこともあり、専門的な指導をしていただくというのも、羨ましいなという面もありますが、普段子供たちを見てくださっている先生が部活でも見てくださっているのも、子どもの性格も分かっているのでありがたいなと思います。

まとまっていないですが、どちらも分かるという感想です。

○山根委員長

いろんな不安がありますよね。そういったアンケート結果もありますので、そのあたりを今後検討していくということが大きな問題になると思っています。

○森川委員

これは外部の方が来られている時には時給が発生していますが、先生が顧問されている時は、手当は発生するのですか。

○北村副委員長

基本的にはないです。土日であれば部活動手当が支給されます。

○瀧ヶ平委員

すみません、一つ、質問です。【資料2】のそれぞれの中学校の下にある運動部 475 時間、文化部 60 時間は何の数字でしょうか。

○事務局

年間の各校の割り当て時間数です。予算が限られているとお伝えしましたが、その割り当てられた予算を3校に分割しています。

○小川委員

最終的には地域移行という形が、一番現実的なのかなと思いますが、さっきおっしゃっていただいた様に、

教員がクラブ活動を見ているからこそ、生徒を理解できているというのも、大きなところではあると思います。なので、全部を地域移行するのは、現実的に厳しいのではないかなど思っているのですが、剣道の「結会」のお話を聞いた時に、学校の先生がクラブチーム化をして見ていくというのは、今後してくれる方がいるのであれば地域移行が可能な方法だと思いました。

私の専門はバレーボールですが、バレーボールでよく聞くのはクラブチーム化をしているという話は聞きます。ただそうになると、さっき言っていた会費の問題は必ず発生しますし、先生方の負担も大きいですし、全くお金はもらわないけれどもボランティアで教えているというのが、やはり厳しいところだと思います。だからと言って、どこからお金が出るのかってなると、出所も難しいので、行き止まりになるのかなど正直思っています。

でも現実的な考え方でいけば、クラブチーム化をしていき、先生や、地域の方々に教えていただくというのは、他の市でもよく聞く話ではあると思っています。

もう一つは拠点校化していくのも他市では聞いています。割と個人種目のものから拠点校化して、クラブ指導員を派遣して指導しているというのは聞いています。ただ、やはり施設の問題がありますが、施設は学校の施設を使えばある程度、予算的にもまかなえるので、学校の施設を使っているところがあると聞いています。以上です。

#### ○山根委員長

はい、ありがとうございます。クラブチーム化して引き続き先生方が指導していたら、あまり意味のない話ですよね。またそこに報酬をもらうということはおそらく駄目でしょうから、外部の指導者にきてもらうことがベストだと思いますが、その人材発掘ということも大きな問題ですね。

近隣市町村はどのような動きになっているでしょうか。

#### ○事務局

近隣の市の動向を聞きました。

松原市は男子バスケットボール、女子バスケットボール、陸上、サッカーを基本土日のみ拠点校指導しているようですが、来年度も種目を増やしたいということでした。また、ミズノにスケボ一部を委託しているという話も聞きました。

羽曳野市は、剣道と柔道を拠点校指導しているという話を聞いています。

富田林市は、野球部を2年ほど前から合同で部活動練習していると聞いていますが、試合は各校で出場しているそうです。だんだんクラブチームにしていく方法では考えていて、卓球やサッカーも拠点校指導していけたらということでした。

河内長野市も、野球を合同部活動で練習しているようですが、来年度は小学生の野球チームを見ている方が、中学生も見えてくれることになったそうで、来年度はそのチームに土日は地域移行していき、平日に関しては今の状態が続くそうです。「結会」と同じような剣道の地域団体もあると聞いています。

大阪狭山市に関しては、令和9年の9月から平日も土日も全クラブが完全移行すると聞いていますが、指導者探しにとっても苦慮しているようです。基本は市にサッカーチームが1つ、野球チームが1つ、のように考えていますが、そのクラブチームがどの校区でやりたいかにもよるので、保護者の受益者負担に関してもそのチームに任せているということでした。以上です。

### ○山根委員長

はい、ありがとうございます。今、近隣の市町村のお話を聞きましたが、何かご意見ありますか。

### ○北村副委員長

先日、体育の研修会で、河内長野市の南花台中学校へ行かせてもらいました。南花台中学校は1学年30人ほどだそうで、部活動をどうしているのか聞くと一切していないそうです。陸上部はありましたが、なくなったということで、それぞれが個人で何かをしているそうです。だから学校で部活動は行われていないそうです。

文科省が全国のそういった小さな市町村、学校のクラブ活動がどんどん減っているの、いろんなクラブを選べるように、また教員の働き方を含めたところの両面で地域移行の話がでてきましたが、真逆の動きというか、全部なくなってしまうところもあるんだなと思いました。だから昔みたいに誰もがクラブに入るという時代が終わっていくのかと思いました。保護者はどんな意見を持っているのか、今度、情報を仕入れてこようと思っています。

ちなみに本校の顧問と話してまして、例えばサッカー部は、今道中と藤中が合同でチームを組んでますが、3つの学校の顧問は、いずれ拠点校になればいいと言っています。ただ、今現在拠点校をしてしまうと、部員を足すと100人ぐらいになってしまいますが、11人しか試合に出ることができないので、難しいと感じています。あるいはそこで3チームぐらい出られるようにするとか、もう少し部員が減ればそういったことも考えていけるという話はしているそうです。

それから、野球部も三中和道中が今部員が少なくて合同チームで練習していますが、野球部もいずれは拠点校にできればという話になっているようです。周りの様子も見ながら拠点校と、新しい「結会」みたいな形の団体、あるいは卓球とかも組み合わせっていく方向になるのかなと思います。お金の問題等色々壁がありますね。

先生たちは学校で何か話されていますか。

### ○大鳥委員

そうですね。平日の部活動と業務との調整が本当に日々難しく、怪我があるとだめですので、必ず見ないといけないというのが難しいです。

確かに空気感はちょっと変わったような気はします。一時期、地域移行していくのかと思いましたが、全国的にも、難しいので、足踏みしているのかなって空気感は、教員の中にもあると思います。

### ○小川委員

同じですね。完全地域移行はやっぱり難しいのは分かっているので、先生方もどうなっていくのかなと思っています。

### ○北村副委員長

例えば、各部の部員が10人ずつ減ったら、拠点校もどんどん進んでいくのかと思いました。

他市の情報もまた聞いてみますけど、どこの市も進んでいるようで進んでない感じですね。

「進んでいます。成功しています。」と言っている市はありましたか。

○事務局

自信満々に「進んでいます」という市はなかったと思います。一番進んでいる大阪狭山市さんも、それはそれでいろんな課題があるというような話もされていました。いずれにしてもいろいろな課題が山積みだと思います。

○山根委員長

ありがとうございます。他に何かございます。

○瀧ヶ平委員

狭山市さんの話ですが、民間に丸投げみたいな形でされているということですか。

○事務局

そうですね。例えばサッカーのクラブチームで受け入れてくれる団体がいれば、そこにしてもらおうというような形です。

○瀧ヶ平委員

行政も一切関与しないし、補助金みたいなものを出すとかというのもないということですか。

○事務局

お金に関してちょっとまだ私も聞けてない部分はありますが、一切関与しないことはないと思います。

ただ、全てのクラブチームに補助金出すとなると膨大な額になりますので、基本的にはそのクラブの方々が運営をする。その運営に必要な部分を会費として集める。そのクラブチームが月1万円必要ということであれば、当然保護者の方がそれに理解していただいて、入会するというような形での動きをしているようです。

○森川委員

それは部活動っていう形ではなく、じゃ、もう外部のチームに所属という形ですか。

○事務局

そうですね。大阪狭山市さんは、学校からは部活動をなくしますと宣言もされているので、そういうクラブチームさんをそれぞれ立ち上げてください、というように進めているという状況です。

○北村副委員長

昨年度までの会議で大阪狭山市さんの状況を見て成功しているようであれば、参考にさせてもらいたいという話が出ていたことがありますね。もう少し結果を見てみる必要がありますよね。

○山根委員長

はい、ありがとうございます。

○大鳥委員

部活を見ている教員の先生方の中でも二分されているというか、「もっとクラブをやりたいんだ」という先生もいれば、ご家庭のこともあって、日々の業務と調整しながらやっている先生もいます。

働き方改革もありますが、もっとクラブやりたいという先生も中にはいるので、そういった先生方がいわゆる地域団体を立ち上げてやっていけば、ちょっとずつ進んでいくのかなと個人的には思っています。

課題は先ほどあった報酬だと思います。今なら土日にクラブをすると、手当がつきますが、それが一切なくなった状況で「クラブやりたいからやる」となるかと考えた時に、仮に保護者から会費を集めることも必要なのかと思います。うちの団体の保護者の方も「会費を集めるなら払います」と言っています。集めるとなれば月500円程度だと思いますが、現状、教員は報酬をもらうことが難しいと思うので、その制度も含めて検討していく必要があります。

○北村副委員長

やればやるほど赤字になりますか。

○大鳥委員

そうですね。赤字になっています。

○山根委員長

報酬とは別にしても、せめて運営費くらいは必要ですよ。

藤井寺市が日本体育大学と協定を結んでいまして、自治体フォーラムというのが日体大で毎年1回開かれています。それに今週末、私と教育長とそれからスポーツ振興課課長と3人で出席する予定です。

先日担当者の方から地域部活動の全国の協定自治体に対して協力します、という話がありました。今週末のその自治体フォーラムで初めて発表するそうなので、次回その話ができるのかなと思います。

日体大で日体クラブっていうのを実際にもう作って活動しているそうで、東京世田谷と、神奈川、横浜のキャンパスですが、その地域の部活動の協力を現在行っているようです。

協定自治体に対しては日体大の卒業生を利用してくださいみたいな話かな、と思っています。卒業生といっても、教員をしている人間が多いので、教員がそこに関わるということは、難しいと思いますが、一般企業に勤めているOBや定年退職した保健体育の先生は、日本中にたくさんいるので、そういった方々の活用というのも、ちょっと探ってみようかと思っています。

ただ、卒業生といっても、もう高齢の方が多いと思いますので、難しいかもしれませんが、専門的な知識をもっているOBが藤井寺市にもたくさんいますので、探してみたいと思っています。

他に何かございますか。

○事務局

先ほど、瀧ヶ平委員から卓球の方が、指導者のことについて相談にのってもいいとおっしゃっていただきましたので、一度事務局からその代表の方お話をさせていただくことは可能ですか。

○瀧ヶ平委員

はい。

○山根委員長

他にありますか。

それでは、第3回に令和8年度の具体的な取組を確認したいと考えております。

続きまして、次第の3「事務連絡」についてです。

事務局お願いします。

○事務局

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

また後日次回の日程調整をさせていただきます。

開催日時、場所が決まりましたら正式なご案内を送付させていただきます。

○山根委員長

これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これを持ちまして「令和7年度 第2回 藤井寺市地域部活動あり方検討委員会」を閉会いたします。